

「ボーダレス化時代における法システムの融解と再構築－現場との対話」

日時: 2007年1月27日(土)、28日(日)

場所: 六本木アカデミーヒルズ49 オーディトリウム

プログラム

9:00	受付開始		
9:30-9:35	開会挨拶	高橋 宏志	東京大学 大学院法学政治学研究科長
9:35-9:45	イントロダクション		ボーダレス化時代における法システムの課題 渡辺浩 (東京大学法学部教授)

第1部 国家と社会関係をめぐる法システムの再編成

9:45-11:05	(1) 研究チームからの論点提示		
9:45-10:05	法形成・実施における団体の役割	江頭憲治郎	(東京大学法学部教授)
10:05-10:25	国家社会関係の変容と税制の再編成	増井良啓	(東京大学法学部教授)
10:25-10:45	社会保障における国家と市場	岩村正彦	(東京大学法学部教授)
10:45-11:05	国家任務遂行における公私の融合	碓井光明	(東京大学法学部教授)
11:05-11:15	休憩		
11:15-11:45	(2) 現場からの応答		
11:15-11:30	柴崎澄哉	(東京大学 公共政策大学院教授)	
11:30-11:45	打田武彦	(東京都 総務局行政改革推進部行政改革担当課長)	
11:45-12:45	(3) 総合討論		

第2部 国際関係をめぐる法システムの再編成

1:30	受付開始		
14:00-15:20	(1) 研究チームからの論点提示		
14:00-14:20	国際法における「境界」の位相	中谷和弘	(東京大学法学部教授)
14:20-14:40	国家の解体・統合と国籍・市民権問題	塩川伸明	(東京大学法学部教授)
14:40-15:00	不法行為法から見た在日外国人	大村敦志	(東京大学法学部教授)
15:00-15:20	リベラル・デモクラシーの行方－レオ・シュトラウスの政治思想によせて	長谷部恭男	(東京大学法学部教授)
15:20-16:00	(2) 実務の観点からの応答		
15:20-15:40	パレスチナ問題と国際法	茂田宏	(元イスラエル大使)
15:40-16:00	東アジア諸国との経済連携協定の構築とその地域統合促進への基盤形成効果	宮川眞喜雄	(日本国際問題研究所所長代行)
16:00-16:10	休憩		
16:10-17:10	(3) 総合討論		

第3部 科学技術発展と法システムの再編成

9:00	受付開始		
9:30-10:50	(1) 研究チームからの論点提示		
9:30-9:50	科学技術発展と法の課題－歴史的視座から	西川洋一	(東京大学法学部教授)
9:50-10:10	科学技術発展と刑事法	高山佳奈子	(京都大学法学部教授)
10:10-10:30	知識創造と法システム	山本隆司	(東京大学法学部教授)
10:30-10:50	科学技術と法システムの組織的基盤	城山英明	(東京大学法学部教授)
10:50-11:00	休憩		
11:00-12:00	(2) 現場からの応答		
11:00-11:15	米本昌平	(科学技術文明研究所所長)	
11:15-11:30	中尾政之	(東京大学大学院 工学系研究科教授)	
11:30-11:45	大島啓太郎	(前 国土交通省 大臣官房 運輸安全監理官/ 国土交通省国土交通政策研究所副所長)	
11:45-12:00	中村幸一郎	(経済産業省 原子力安全・保安院 原子力安全技術基盤課長)	
12:00-12:50	(3) 総合討論		